

## 検査・点検

これからワイヤロープを加工するに当たり、

- 『 ロック加工を施すプレス機に異常は無いか？ 』
- 『 使用するワイヤロープに異常は無いか？ 』
- 『 アルミクランプ管に異常は無いか？ 』

を毎回「点検・検査」致します。

建築現場では必ずと言って良い程に日常的に使用される治具、使用する方の日常的な安全を御守りする為にも、加工の前段階から気は抜けません。

### 【プレス機】



作動ボタンを押して、ボタン通りに動くかをチェック。



動きに異常が無いかを入念にチェック。



油漏れ等が無いか、機械の周囲も欠かさずチェック。



毎回、点検・検査は項目に従って、チェックと記録をする。

### 【ワイヤロープ】



まずは、納入されたワイヤロープが、規格・品質をクリアしているかを、ラベルで正確にチェックする。



次に、外観・公称径のチェックを実際に行い、規格・品質をクリアしているかを正確にチェックする。



そして、最終的に規格・品質が適切な物かを、ラベルと実際の測定結果を照合し、クリアしているかをチェックし、記録する。

### 【アルミクランプ管】



検査に当たり、任意に3個のクランプ管を抜き取る。



そして、規格表に基づいて、規格・品質をクリアしているかを正確にチェック。



クランプ管は、小さい部材だが、圧縮してアイ部分を締結する為の大事な部材、チェックは慎重に入念に!!



そして、測定結果が規格表をクリアしているかを記録する。

そして、全て『異常無し!!』となれば、加工に移ります。